



SPは5分のできる
意識改革!

とやまケンキョーソ特命

多忙解消

セキュリティポリス
No. 20



(祝)3年間で20号達成...

すすみ始めた改革! 3年前とは「意識」が違う

本紙「とやまケンキョーソ特命多忙解消SP (セキュリティポリス)」は3年前の7月にスタートしました。その頃は「学校の働き方改革」という言葉さえない頃で、私たちは、先生方に多忙解消を意識してもらいたい一心でSPを発行しました。現在、学校で多忙解消が大きな課題になっている中、それぞれの学校で少しずつ改革が進んでいます!

多くの学校で家庭訪問が「希望者のみ」に

県教組は3年前からSPで家庭訪問の削減を訴えていました。当時は「家庭訪問は無くしたらダメだ!」という声も強かったのですが、現在「家庭訪問は希望者のみ」としている学校が急増しています。「家庭訪問廃止」にして、自宅の位置確認のみとしている学校もあります。削減してみると「特に問題はなかった」という声も聞こえてきます。

通知表も縮減されています。昨年、北日本新聞で通知表の道徳の所見が年3回か、年1回かが取り上げられた影響もあり、今年は年1回の学校が増え、1学期の終わりに「ホッとした」という声が届いています。総合的な学習の時間や小学校の英語も年に1回とする学校が増えています。

若槻千夏発言が炎上!

さて、7月21日「news zero」で、タレントの若槻千夏さんの発言が大きな波紋を広げました。出演した現役の教員が「学校の働き方改革で18時以降は留守番電話にしている」と発言すると、若槻「18時以降に子どもがいなくなったらどうするの?」

教員「それは警察や親の役目だと思います」

若槻「学校は対応してくれないんですか?」「そんなビジネス化しちゃダメでしょ」

「みんな『ごくせん』観たでしょ!『金八先生』観たでしょ!」と反論。

ネット上では、若槻さんに同調する意見もありましたが、「先生には授業をしっかりとってほしい」「何でもかんでも学校に求めすぎ」「こういう人がいるから学校の負担が増える」「ますます先生になる人材がいなくなる」などの批判が夜が明けても噴出しました。

続きは裏に→

多忙解消SPメンバー紹介「夏に食べたい一品」

委員長 能澤 英樹 「台湾かき氷(マンゴー味)とやらを食べてみたい」	書記長 湯浅 慎治 「タピオカミルクティーとやらを飲んでみたい」	書記次長・富山支部担当 平山 志郎 たまご園の「ゆでたまご」と「馬刺し」	魚津支部担当執行委員 寺島 豊和 いろいろな「生」	高岡支部担当執行委員 林 誠 青唐辛子を効かせた「バン格拉カレー」	砺波支部担当執行委員 正来 晋 キーンと冷えた「スイカ」	特別支援担当執行委員 林 伸恭 火を吹くような「激辛台湾ラーメン」

学校擁護の風が・・・

数年前に同じことが放送されたら、世論は完全に若槻さんに同調したでしょう。今、マスコミの報道などで、学校の働き方への理解が世間に浸透しています。

30年に1度のチャンス！

この「学校の働き方改革の風」は、決して自然発生ではありません。日教組が、国会や文部科学省、中央教育審議会をはじめとする行政や、マスコミに粘り強く働きかけて問題提起してきたものが、内田良さんなどのネット上の発言者の意見と共鳴し、大きなうねりになったのです。

平成の30年間の中で、このような学校擁護の風が起こったのは初めてです。世間はあまり気づいていませんが、今のままでは、子どもたちに豊かな教育を行うことができなくなることが最大の問題です。学校の働き方を持続可能にするために、絶対にこのチャンスを逃してはいけません！

県内でも様々なとりくみが

本来であれば、事務的な業務など子どもにかかわらない部分から削減をすすめるのが筋ですが、子どもにかかわる部分も通常の教員の業務でできる範囲を大きく超えてしまっているのが現状です。

- 「5、6年の宿泊学習が2泊から1泊に」
 - 「4年生の宿泊学習がなくなった」
 - 「中1の宿泊学習は校外学習に」「立山登山がなくなった」
 - 「1泊のスキー学習が日帰りになった」
 - 「連合体育大会が午前のみ」
 - 「持久走大会が年2回から1回に」「学習発表会の隔年化」
 - 「運動会の行進は直進のみ」「運動会のダンスをやめた」
 - 「鼓笛隊をやめた」「運動会の万国旗をつけない」
 - 「始業式、終業式の『がんばったこと』の発表をやめた」
- などのとりくみがあります。北日本新聞の「自作童話大会」が今年から行われなという情報も届いています。

先生方が、ゆとりをもって働けるようになれば、それは必ず子どもたちに還元されます！ぜひ各学校でも負担軽減をすすめてください！



持続可能な学校のために業務改善は避けては通れません。校内多忙解消会議、職員会議、研修会、分会集会などで、ぜひ声に出してください！

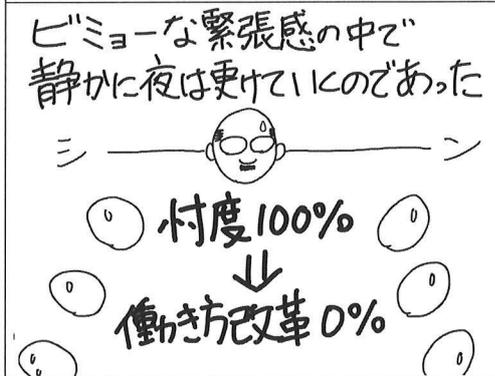
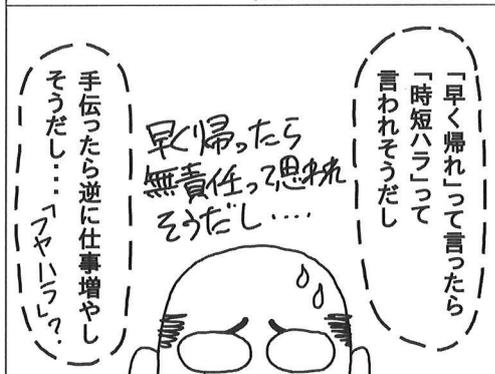
県教組は、これからも「多忙解消SP」「新教育」などで県内外の多忙解消事例を紹介するので、ぜひチェックしてください！



多忙反対！家庭第一のイクメン教師
つるぎ

剣マモルが行く！

静かに夜は更けていく…の巻



※働き方改革には対話が必要です。